



Title	大阪大学低温センターだより No.58 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1987, 58
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21227">https://hdl.handle.net/11094/21227</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## < 編 集 後 記 >

超伝導遷移温度 ( $T_c$ ) が急上昇して、関係者は大騒ぎです。

A「3月末から4月始めの学会シーズン。どこの学会も関係セッションは超満員だったですね。」

B「予定時間をはるかに越えて、講演・討論が続いたそうですね。」

A「大変な好機だと思って、私のグループも材料をつくっていろいろ測定しました。今も頑張っています。同じなら踊らにゃ、という心境ですね。」

B「続けて来た研究を急に放り出して、やる気になれませんでした。ゴールドラッシュを思いだしましたよ。」

A「やるからには、常温超伝導材料を見出して、統一的説明を与えて、ノーベル賞をとりたいですね。」

B「あんまり逸り過ぎて、故意に過ったデータの発表をしないで下さいよ。」

こんな会話がキャンパスでも学会場でも、あちこちで聞かれました。

本誌の編集委員会でも話題になったことは言うまでもありません。

低温センターも新しい時代を迎えることになるのかも知れないな、とふと思ったりしました。

(山本雅彦)

- ・低温センター運営委員の一部交代について  
産業科学研究所 中村勝吾氏より中島尚男氏へ
- ・センター長、副センター長の交代について (4月1日付)  
低温センター長 三 石 明 善 (工学部)  
副センター長 伊 達 宗 行 (理学部)  
次号に運営関係者リストを掲載します。
- ・低温センターだより編集委員の追加  
工学部電子工学科 谷 口 研 二氏

大阪大学低温センターだより 第58号

昭和62年5月 発行

編集責任者 柳 田 孝 司

発 行 者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話 (06) 877-5111 内線4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話 (06) 844-1151 内線2162

印 刷 所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話 (06) 443-0936 (代表)

# 目 次

No. 58

## 研究ノート

ダイヤモンドの話.....	理 学 部	萩原 政幸.....	1
超塑性変化における粒界すべりの役割.....	工 学 部	古城 紀雄.....	4
強制冷却超電導体の安定性.....	低温センター	山本 純也.....	7
超電導線材を用いた磁気遮蔽の研究.....	産 業 科 学 研 究 所	西嶋 茂宏 岡田 東一.....	11

## 実験メモ

低温での機械的試験のための試料交換法.....	工 学 部	片岡 俊彦.....	15
昭和61年度寒剤供給状況 .....			17

表紙の図説明：超電導線材を用いた板状磁気遮蔽体。二枚の銅板を銅パイプで連結し、その間に超電導線材でできた編目状遮蔽体を配置している。遮蔽体の剛性を持たせるためと、安定性を持たせる目的で、銅のパイプでヘリウムの流路を確保しつつ断面二次モーメントを大きくしてある。また使用した超電導線材は連続の一本の線材である。（本文11ページ参照）